

会賀祝念記以屋山ノ



マイクを手に感謝と決意を述べる秀ノ山親方

「幕内優勝力士を出す」

親秀ノ山 設立祝賀会で決意

柳川

柳川市出身の秀ノ山親方(元大関・琴奨菊)が10月に開設した大相撲秀ノ山部屋の設立記念祝賀会が11月25日夜、同市南長柄町のランヴィエール勝島であった。ファンや住民、関係者ら約220人が出席した中、親方が応援に感謝し「幕内優勝力士が出るよう頑張る」と決意を述べた。

部屋は東京に設立し、柳川生まれで大牟田高校柔道部出身の誠雄菊二郎さん(19)ら5人が所属している。九州場所では同市の高畑公民館に宿舎を構え、三柱神社境内の高畑公園に設けられた土俵で公開稽古を行った。連日、福岡市まで通って取組に臨み、誠雄さんら序二段力士3人が勝ち越し、東京出身で新弟子の

出野さん(16)も前相撲でデビューした。祝賀会は地元の後援会「秀ノ山会」が主催。親方はこの1カ月、公民館で寝泊まりし、多くの人が応援に訪れ、食料品などたくさん差し入れがあったことに感謝を伝え、「弟子たちには『気持ちだけは負けるなよ』と、相撲に対する姿勢を常に話しています。また

序二段ですが、早く地位に就けるよう厳しく指導したい。弟子を増やし、横綱や大関がいる部屋にしたい」と意気込んだ。そして「部屋として最初の本場所を柳川でできて、うれしく思います」と深々と頭を下げた。

秀ノ山会の友添淳次会長らもあいさつし、力士の紹介などがあった。誠雄さんは取材に対し、「感謝の気持ちを持ち、しっかりと相撲の基礎を身に付けていきます」と来年への意気込みを話した。

(牛島亮介)